

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公表特許公報 (A)

(11) 特許出願公表番号

特表2010-520115

(P2010-520115A)

(43) 公表日 平成22年6月10日 (2010.6.10)

(51) Int.Cl.	F 1	テーマコード (参考)
B 6 0 N 2/44 (2006.01)	B 6 0 N 2/44	3 B 0 8 7
B 6 2 D 25/20 (2006.01)	B 6 2 D 25/20 E	3 D 2 0 3

審査請求 未請求 予備審査請求 未請求 (全 11 頁)

(21) 出願番号	特願2009-552254 (P2009-552254)	(71) 出願人	507308902 ルノー・エス・アー・エス フランス国 エフー 9 2 1 0 0 ブローニ ュ ビランクール, ケ ル ガロ 1 3 ー 1 5
(86) (22) 出願日	平成20年3月3日 (2008.3.3)	(74) 代理人	100109726 弁理士 園田 吉隆
(85) 翻訳文提出日	平成21年10月29日 (2009.10.29)	(74) 代理人	100101199 弁理士 小林 義教
(86) 国際出願番号	PCT/FR2008/050355	(72) 発明者	リウー, オリヴィエ フランス国 エフー 7 8 9 6 0 ヴォワザ ン ル プルトヌー, リュ シャルル グノー 1 3
(87) 国際公開番号	W02008/122737	F ターム (参考)	3B087 DA01
(87) 国際公開日	平成20年10月16日 (2008.10.16)		
(31) 優先権主張番号	0753659		
(32) 優先日	平成19年3月6日 (2007.3.6)		
(33) 優先権主張国	フランス (FR)		

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 自動車のシートの取り付けのための構成

(57) 【要約】

本発明は、車両のボディの構造部材に対してシート（１）を取り付けるための構成に関し、少なくとも１つのロック部材（１０）が前記シート（１）を固定可能であり、かつ保持部材（１２、１３）に連結されており、前記保持部材（１２、１３）がボディの構造部材（２）に対して位置決めされており、保持部材（１２、１３）、車両のフロア（４）、および構造部材（２）が、共通の溶接（２２）によって連結されていることを特徴とする。

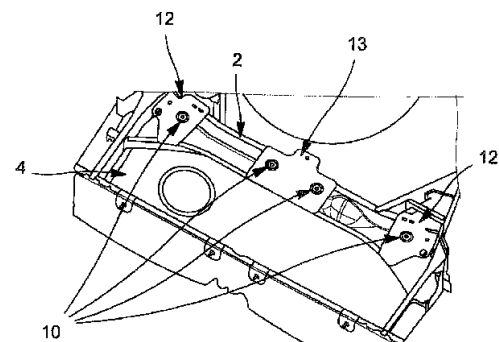


FIG. 4

【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

車両のボディーシェル構造要素に対してシート（１）を取り付けるための構成であって、少なくとも１つのロック手段（１０）により前記シート（１）を取り付けることができ、該少なくとも１つのロック手段（１０）が支持要素（１２、１３）に固定されており、この支持要素（１２、１３）がボディーシェル構造要素（２）に対して位置決めされており、支持要素（１２、１３）、車両のフロアーパン（４）、および構造要素（２）が、共通の溶接（２２）によって互いに固定されていることを特徴とする構成。

【請求項 2】

フロアーパン（４）が、支持要素（１２、１３）と構造要素（２）の間に配置されていることを特徴とする、請求項 1 に記載の構成。

10

【請求項 3】

ロック手段（１０）が円筒形の要素であり、かつこれが 120 度間隔の 3 つの溶接シーム（２０）によって支持要素（１２、１３）に溶接されていることを特徴とする、請求項 1 または 2 に記載の構成。

【請求項 4】

支持要素（１２、１３）が板状であり、実質的に平坦なエッジ部（１６）と、少なくとも１つのロック手段（１０）が関連する少なくとも１つのプレッシング（１４）から形成された中央部からなることを特徴とする、請求項 1 ～ 3 のいずれかに記載の構成。

【請求項 5】

プレッシング（１４）が垂直方向に向けられていることにより、支持要素（１２、１３）のエッジ部（１６）が構造要素（２）のラビット（３）に固定されたとき、プレッシング（１４）および対応のロック手段（１０）が、構造要素（２）の容積内に位置することを特徴とする、請求項 4 に記載の構成。

20

【請求項 6】

2 つの別個の支持要素（１２、１３）が同一の構造要素（２）上に配置されており、各支持要素（１２、１３）が、同じ車両シート（１）を取り付け可能なロック要素（１０）を担持していることを特徴とする、請求項 1 ～ 5 のいずれか一項に記載の構成。

【請求項 7】

請求項 1 ～ 6 のいずれか一項に記載の構成で取り付けられた 2 つの独立したシート（１）を備え、かつ 3 つの支持要素（１２、１３）を備えており、これらのうち 1 つが 2 つのロック手段（１０）を備える中央支持要素（１３）であることを特徴とする自動車。

30

【発明の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

本発明は、シートの取り付けのための構成、より詳しくは、車両のボディーシェル構造要素に対してシートを取り付けるための構成に関するものであり、少なくとも１つのロック手段が前記シートを取り付け可能であり、かつ支持要素に固定されており、この支持要素がボディーシェル構造要素に対して位置決めされている。

【背景技術】

40

【0002】

シートの取り付けにおいては、車両のボディーシェルに固定された要素へ溶接されたロックシステムを用いることが公知のやり方である。

【0003】

従来のやり方においては、図 2 に描かれるように、これらのロックシステムは、横材 2 に溶接 210 されているハウジング 200 を介して車両のボディーシェルと関連している。これらのロックシステムは、車両部品の構造を複雑化させ、その領域に割り当てられた容積に悪影響を与えおよび / または車両の重量に悪影響を与える欠点を有している。この公知の構成では、フロアーパン 4 がハウジング 200 上に載っている。フロアーパンの厚みの小ささおよびその損傷のリスクゆえに、横材 2 とハウジング 200 のみが共通のスボ

50

ット溶接で溶接される。

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0004】

よって本発明の目的の1つは、シートの確実な取り付けをもたらし、荷重にも耐えられるが、さまざまな自動車会社がどれも直面している目的に対応して、安価であり、かつあまり嵩張ることもないシートの取り付け構成を提案するものである。

【課題を解決するための手段】

【0005】

これらの目的をかなえるために、本発明は、支持要素、車両のフロアパン、および構造要素が、共通の溶接によって互いに固定されていることを特徴とする上述の構成を提案する。

【0006】

本発明の種々の特徴によれば、

- ・フロアパンが、支持要素と構造要素の間に配置されている、
- ・ロック手段が円筒形の要素であり、かつこれが120度間隔の3つの溶接シームによって支持要素に溶接されている、
- ・支持要素が板状であり、実質的に平坦なエッジ部と、少なくとも1つのロック手段が関連する少なくとも1つのプレッシングから形成された中央部からなる、
- ・プレッシングは垂直方向に向けられ、よって支持要素のエッジ部が横材のラビットに固定されたとき、プレッシングおよび対応のロック手段が、構造要素の容積内に位置する、
- ・2つの別個の支持要素が、1つかつ同一の構造要素上に配置されており、各支持要素が、同じ車両シートを取り付け可能なロック要素を担持している。

【0007】

本発明はまた自動車車両を対象としており、これは上述の構成で取り付けられた2つの独立したシートを有しており、かつ3つの支持要素を有しており、これらの1つが2つのロック手段を有する中央支持要素である。

本発明の他の特徴および利点は、以下の詳細な説明を読むことで明らかとなるもので、その理解のために添付の図面を参照する。

【図面の簡単な説明】

【0008】

【図1】独立リアシート組立体およびこれらのシートを取り付けるための本発明による構成の概略図である。

【図2】従来技術による取り付け構成の図である。

【図3】図1に描かれた取り付け構成の断面図である。

【図4】図1の取り付け構成のシート組立体なしの図である。

【図5】本発明による中央支持要素の下から見た概略図である。

【図6】側方支持要素の上から見た概略図である。

【発明を実施するための形態】

【0009】

以下の説明における、自動車車両において用いられる伝統的な方向に基づいた、図1で三面体L、V、Tで示される、長手、垂直、横断方向とは、非限定的に用いられるものである。

【0010】

本発明は、自動車車両のシート1を取り付けるための構成を保護することを目的とする。以下の典型的な実施例では、取り付け構成は第2のリアシートとは独立したリアシート1との関連で記述される。当然ながら、この構成はいかなる車両シート、とりわけフロントシートやリアベンチシートにも適用可能であり、本発明による取り付け構成は、これと同じシートの他の取り付け箇所に対する他の取り付け手段と組み合わせてもよい。

【0011】

図 1 に描かれるように、シート 1 は、車両の構造に公知の方法でネジ留めされた 2 つのフロント取り付けポイント 6、および 2 つのリア取り付けポイントによって取り付けられている。これら 2 つのリア取り付けポイントは、シートと関連した 2 つのロックシステム、図示してはいないが例えば、いわゆる“ボールフィックス”タイプのシステムで出来ており、これらのロックシステムは、ボディーシェル構造と関連するロック手段 10 と協働可能である。

【0012】

本発明によれば、ロック手段 10 は支持要素 12、13 に溶接されている。図 1 および 4 に描かれるように、単一のロック手段 10 が単一の支持手段 12 に関連するものであってもよいし、少なくとも 2 つのロック手段 10 が、1 つかつ同一の支持要素 13 に溶接されていてもよい。

10

【0013】

本発明によると、各ロック手段 10 は円筒形の要素の形態であり、その中央には、シート 1 と関連するが図示されてはいないロックシステムと協働可能な穴 11 が設けられている。各円筒形要素は支持要素 12、13 の裏面 18 に載っており、ロック手段 10 を形成する円筒形要素の穴 11 が支持要素 12、13 に形成された開口部 15 と対応するように配置されており、シートと関連するロックシステムが下向きの垂直動作によってこの穴 11 に装入可能となっている。

【0014】

支持要素 12、13 の各開口部 15 の寸法は、一方ではロック手段 10 の穴 11 が完全に覆われていない状態でかつアクセス可能なように、他方では支持要素 12、13 の裏面 18 がロック手段 10 を形成する円筒形要素の周縁部と接触する場所で溶接シーム 20 が作れるように設計されている。本発明の一実施例によれば、ロック手段 10 を形成する円筒形要素を支持要素 12、13 に固定するために 3 つの円弧状溶接シーム 20 が形成される。これら 3 つの溶接シーム 20 は、円筒形要素の周縁に 120 度間隔で均一に配置されている。例えばこれらの溶接シームは、ガスシールド金属アーク溶接によって作られる SMAW シームとすることができる。

20

【0015】

各支持要素 12、13 の長手寸法は、各支持要素の長手方向端部に対応するエッジ部 16 が、対応する構造要素 2 のラビット 3 上に載置および取り付け可能であるように、対応する構造要素 2 の長手寸法と少なくとも等しい。

30

【0016】

本発明によれば、各支持要素 12、13 は板から形成されており、実質的に平坦なエッジ部 16 と、プレッシング 14 から形成された少なくとも 1 つの中央部を有するため、この中央部は板のエッジ部 16 を含み、したがって、対応する構造要素 2 のラビット 3 の平面より低い位置にある平面に位置している。図 3 に描かれるように、ここでロック手段 10 が溶接されたこの中央部の裏面 18 は実質的に、支持要素 12、13 がこの構造要素 2 に固定されたときの対応の構造要素 2 の容積内に位置する。このような位置は多くの点から好都合であり、この理由は一つにはシート占有者の最終的な垂直方向位置に影響を及ぼすことが可能になり、またシート 1 が荷重に耐える能力も向上するからである。とりわけ、ロック手段 10 が対応する構造要素 2 に可能な限り近いことにより、ロック手段 10 が高い構成と比べてモーメントが小さくなる。

40

【0017】

図 4、5、および 6 に描かれた本発明の一実施例によれば、中央支持要素 13 が、対応する構造要素 2 を形成しかつ 2 つのロック手段 10 を担持する横材の横断方向の実質的中央に配置されている。2 つの側方支持要素 12 は、横材の横断方向の実質的端部に配置されており、それぞれがロック手段 10 を担持している。種々の例において、各支持板は、本発明によれば、ロック手段 10 が溶接されている裏面 18 へのプレッシング 14 を有する。中央支持要素 13 はしたがって、より詳しくは図 5 に描かれるように、ロック手段 10 a、10 b が関連する 2 つの別個のプレッシング 14 a、14 b を有する。ただし当然

50

ながら、本発明の文脈から逸脱することなく、中央支持板に単一のプレッシングが形成され、この単一のプレッシングが中央支持板に関連する２つのロック手段を担持することも可能である。

【００１８】

各支持要素１２、１３は、フロアーパン４および対応する構造要素２へと、３層の溶接が可能なスポット溶接２２で溶接されている。図４に描かれるように、構成における積層は、フロアーパン４が支持板１２、１３と対応する構造要素２のラビット３の間に配置され、よって３層のスポット溶接２２が行えるようになっており、なぜなら溶接中に発生した熱が、フロアーパン４に直接影響を与えず、上部の部材、すなわち支持板１２、１３に影響を与えるもので、その材料および厚さは発せられた熱に耐えられるからである。

10

【００１９】

支持要素１２、１３の横断方向における大きさは、組立体がさまざまな荷重シナリオに耐えられるのに十分なだけの３層のスポット溶接２２を溶接可能とする。

【００２０】

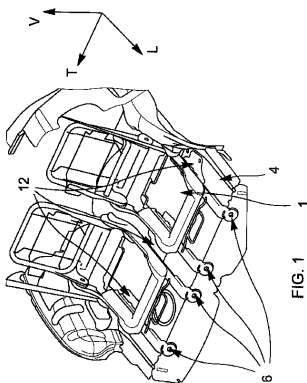
各スポット溶接２２はしたがって、対応する構造要素２、車両フロアーパン４、およびロックシステム１０を担持する板１２、１３の３層を互いに溶接するために行われる。図面に描かれた例では、対応する構造要素２は、リア中央横材であり、フロアーパンは支持板およびロック手段を通すようにカットされている。

【００２１】

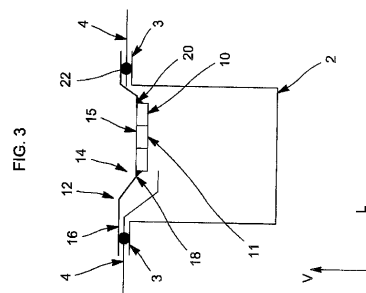
本発明は、単に例として挙げた説明および図解の実施例には、一切限定されない。

20

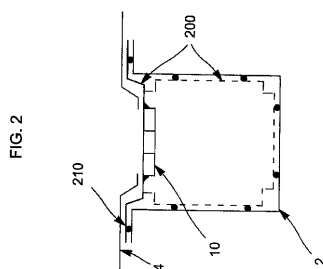
【図１】



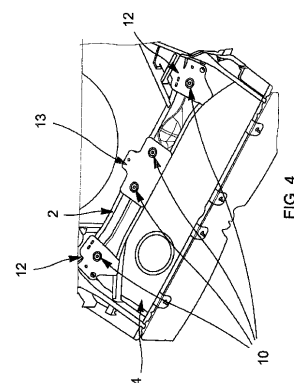
【図３】



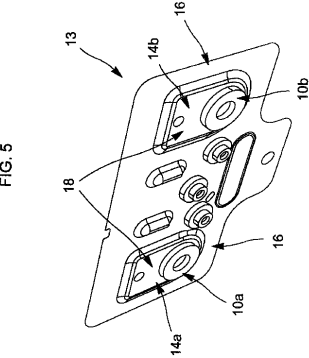
【図２】



【図４】

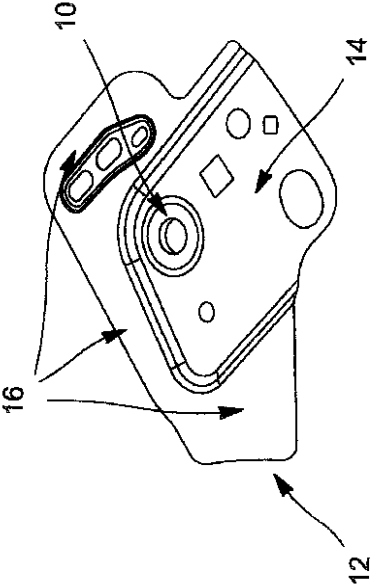


【 図 5 】



【 図 6 】

FIG. 6



【国際調査報告】

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.
PCT/FR2008/050355

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER
INV. B60N2/015

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)
B60N

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practical, search terms used)

EPO-Internal

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
A	DE 102 54 492 A1 (BAYERISCHE MOTOREN WERKE AG [DE]) 3 June 2004 (2004-06-03) figure 1	1
A	DE 10 2005 019078 A1 (FAURECIA AUTOSITZE GMBH & CO [DE]) 26 October 2006 (2006-10-26) figures 1a-5a	1
A	EP 1 391 368 A (PORSCHÉ AG [DE]) 25 February 2004 (2004-02-25) figure 1	1

☐ Further documents are listed in the continuation of Box C.

☒ See patent family annex.

* Special categories of cited documents:

A document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance

E earlier document but published on or after the international filing date

L document which may throw doubt on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)

O document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means

P document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed

T later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention

X document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone

Y document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art

Z document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search

15 septembre 2008

Date of mailing of the international search report

24/10/2008

Name and mailing address of the ISA/
European Patent Office, P.B. 5618 Patentlaan 2
NL - 2280 HV Rijswijk
Tel. (+31-70) 340-2040,
Fax: (+31-70) 340-3016

Authorized officer

González Dávila, J

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

Information on patent family members

International application No
PCT/FR2008/050355

Patent document cited in search report	Publication date	Patent family member(s)	Publication date
DE 10254492 A1	03-06-2004	NONE	
DE 102005019078 A1	26-10-2006	NONE	
EP 1391368 A	25-02-2004	AT 377545 T DE 10237962 A1 ES 2295486 T3 US 2004124666 A1	15-11-2007 04-03-2004 16-04-2008 01-07-2004

RAPPORT DE RECHERCHE INTERNATIONALE

Demande internationale n°

PCT/FR2008/050355

A. CLASSEMENT DE L'OBJET DE LA DEMANDE
INV. B60N2/015

Selon la classification internationale des brevets (CIB) ou à la fois selon la classification nationale et la CIB

B. DOMAINES SUR LESQUELS LA RECHERCHE A PORTE

Documentation minimale consultée (système de classification suivi des symboles de classement)
B60N

Documentation consultée autre que la documentation minimale dans la mesure où ces documents relèvent des domaines sur lesquels a porté la recherche

Base de données électronique consultée au cours de la recherche internationale (nom de la base de données, et si cela est réalisable, termes de recherche utilisés)
EPO-Internal

C. DOCUMENTS CONSIDERES COMME PERTINENTS

Catégorie*	Identification des documents cités, avec, le cas échéant, l'indication des passages pertinents	no. des revendications visées
A	DE 102 54 492 A1 (BAYERISCHE MOTOREN WERKE AG [DE]) 3 juin 2004 (2004-06-03) figure 1	1
A	DE 10 2005 019078 A1 (FAURECIA AUTOSITZE GMBH & CO [DE]) 26 octobre 2006 (2006-10-26) figures 1a-5a	1
A	EP 1 391 368 A (PORSCHE AG [DE]) 25 février 2004 (2004-02-25) figure 1	1



Voir la suite du cadre C pour la fin de la liste des documents



Les documents de familles de brevets sont indiqués en annexe

* Catégories spéciales de documents cités:

- 'A' document définissant l'état général de la technique, non considéré comme particulièrement pertinent
- 'E' document antérieur, mais publié à la date de dépôt international ou après cette date
- 'L' document pouvant jeter un doute sur une revendication de priorité ou cité pour déterminer la date de publication d'une autre citation ou pour une raison spéciale (telle qu'indiquée)
- 'O' document se référant à une divulgation orale, à un usage, à une exposition ou tous autres moyens
- 'P' document publié avant la date de dépôt international, mais postérieurement à la date de priorité revendiquée

'T' document ultérieur publié après la date de dépôt international ou la date de priorité et n'appartenant pas à l'état de la technique pertinent, mais cité pour comprendre le principe ou la théorie constituant la base de l'invention

'X' document particulièrement pertinent; l'invention revendiquée ne peut être considérée comme nouvelle ou comme impliquant une activité inventive par rapport au document considéré isolément

'Y' document particulièrement pertinent; l'invention revendiquée ne peut être considérée comme impliquant une activité inventive lorsque le document est associé à un ou plusieurs autres documents de même nature, cette combinaison étant évidente pour une personne du métier

'8' document qui fait partie de la même famille de brevets

Date à laquelle la recherche internationale a été effectivement achevée

15 septembre 2008

Date d'expédition du présent rapport de recherche internationale

24/10/2008

Nom et adresse postale de l'administration chargée de la recherche internationale
Office Européen des Brevets, P.B. 5818 Patenlaan 2
NL - 2280 HV Rijswijk
Tel. (+31-70) 340-2040,
Fax. (+31-70) 340-3018

Fonctionnaire autorisé

González Dávila, J

RAPPORT DE RECHERCHE INTERNATIONALE

Renseignements relatifs aux membres de familles de brevets

Demande internationale n°

PCT/FR2008/050355

Document brevet cité au rapport de recherche	Date de publication	Membre(s) de la famille de brevet(s)	Date de publication
DE 10254492 A1	03-06-2004	AUCUN	
DE 102005019078 A1	26-10-2006	AUCUN	
EP 1391368 A	25-02-2004	AT 377545 T	15-11-2007
		DE 10237962 A1	04-03-2004
		ES 2295486 T3	16-04-2008
		US 2004124666 A1	01-07-2004

フロントページの続き

(81)指定国 AP(BW, GH, GM, KE, LS, MW, MZ, NA, SD, SL, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), EA(AM, AZ, BY, KG, KZ, MD, RU, TJ, TM), EP(AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HR, HU, IE, IS, IT, LT, LU, LV, MC, MT, NL, NO, PL, PT, RO, SE, SI, SK, TR), OA(BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, ML, MR, NE, SN, TD, TG), AE, AG, AL, AM, AO, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BH, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DO, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, GT, HN, HR, HU, ID, IL, IN, IS, JP, KE, KG, KM, KN, KP, KR, KZ, LA, LC, LK, LR, LS, LT, LU, LY, MA, MD, ME, MG, MK, MN, MW, MX, MY, MZ, NA, NG, NI, NO, NZ, OM, PG, PH, PL, PT, RO, RS, RU, SC, SD, SE, SG, SK, SL, SM, SV, SY, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VC, VN, ZA, ZM, ZW

Fターム(参考) 3D203 AA01 BB06 BB22 CA52 CA68 CB03 CB04 DA51